

平成30年6月28日

# 工業化学科 二級ボイラー技士 受験

6月17日（日）に、労働安全衛生法に基づく免許試験である二級ボイラー技士試験が九州国際大学で行われました。工業化学科の2年生40名が受験してきました。

二級ボイラー技士とは、伝熱面積 $3\text{m}^2$ を超える蒸気ボイラー、伝熱面積 $14\text{m}^2$ を超える温水ボイラーなどを取り扱う時に必要な資格です。

将来、化学プラントでプラントオペレーターとして働く工業化学科の生徒にとっては、在学中に取得したい資格です。二級ボイラー技士になれば、大きさの制限はなく全てのボイラーを取り扱うことができます。ただし、ボイラー取扱作業主任者になれるボイラーの大きさに制限があります。



この日の試験に備えて、2年生は朝補習や放課後の補習を頑張ってきました。試験に合格した後は、ボイラー実技講習を受講して免許を申請することになっています。免許の交付は、18歳になってからです。



これまでの勉強の成果が十分に発揮できたようです。